

東又小学校

# 学校だより

令和3年1月20日（水）

No. 63

東又小 校長 中越あかね

Tel : 0880-24-0006

## 人権・道徳参観日

18日に、人権・道徳参観日を実施し、たくさんの方の参加を頂きました。ありがとうございました。久しぶりにお家の方に見て頂く授業で、子どもたち、頑張って考えた発表したりできました。

|    |    | 内容                                                                                                        |
|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年 | 道徳 | はしのうえのオオカミ<br>誰かに親切にすると、どんな気持ちになるのかなあ。<br>2回出てくるオオカミさんの「えへん、えへん」。その2回の言葉の違いはどうだろうと考えていました。                |
| 2年 | 人権 | 「ちくちく言葉」と「ふわふわ言葉」<br>言われたらどんな気持ちになるのだろうと考えていました。ふわふわ言葉をたくさん言える人になれるといいね。                                  |
| 3年 | 人権 | みんなが暮らしやすい町について考えよう<br>身体の不自由な人も暮らしやすいつくりについて考えていました。<br>学校はどうだろうか？と、学校や町を見直していきました。                      |
| 4年 | 道徳 | つまらなかった<br>すれ違いが起こらないために大切なことを考えようとして、みんなで考えていきました。                                                       |
| 5年 | 人権 | いつでもどこでも誰にでも平等に<br>全ての人が安心して過ごせる避難場所にするためにはどうしたらいいのだろうかと考えました。                                            |
| 6年 | 道徳 | 6年生の責任ってなんだろう<br>6年生らしさとはどんなことだろうか？について考え、その後、6年生としてできることについて考えていきました。東又小学校を良くするために、今日考えたことを元に、明日から実践してね。 |



## 心の教育センターのスーパーバイザーの濱川博子先生の講話

第2部では、濱川先生に来て頂きました。先生は数年前から東又小学校に来てくださり、授業や児童の学習の様子を参観して、より有効的な関わり方や支援の在り方について教えてくださっています。

今回は『子どもを伸ばす親の視点・言葉がけ ～子ども育ちは親育ち～』のお話をさせて頂きました。今までカウンセリングされた中で出会った親子の例をもとに話してくださいました。30人の参加者でお話をお聞きしたのですが、本当によいお話で、講演の途中で涙を出しながら聞いてくれている保護者の方もいたくらいでした。都合で参加していなかった方もおいでましたので、少しお伝えしますね。

### ○子どもを怒る原因はどこにありますか？

子どもに腹が立ったり、ついイライラしてしまうとき、その原因はどこにありますか？よく考えてみたら、その原因が子どもではなく、自分のストレスやしんどさから来ることがありませんか。大人もいろいろな事情でストレスを抱えてしまったりしんどくなってしまうことがあります。この忙しい時に・・・と、余裕がなくてそのしんどさを子どもに当たって怒ってしまうと、子どもは悲しい思いをしてしまいます。

### ○温かい言葉やスキンシップが、子どもの心の栄養になります。

大人もそうですが、温かい声をかけてもらったら嬉しくなります。子どもだったら尚更ですね。「ありがとう」「助かったよ」「頑張ったね」。いろいろなことが、できて当たり前と思わずに、心が温くなる言葉がけや、たまにはぎゅっとハグするなどのスキンシップをしてあげましょう。そうすると、子どもは愛されている安心感から、心の栄養につながります。

### ○「短所メガネ」、「長所メガネ」。どちらのメガネで子どもを見ていますか？

人の良いところが良く見える「長所メガネ」。人の悪いところばかりが目につけてしまう「短所メガネ」。あなたはどちらのメガネをかけて見えていますか？子どもは、認める・褒めることで嬉しくなり、そして「もっと褒めてもらえるように頑張ろう」と思いが芽生え、やがてできるようになるそうです。夫婦間や人間関係でも同じで、認め合う言葉が、関係を良くするために有効に働きます。メガネの掛け替えはなかなか難しく、一度そのメガネをかけてしまうと、ずっと同じメガネをかけることになってしまうそうです。「長所メガネ」をかけられるように努力していきたいですね。

子どもは、自分で自分を認めることができにくいそうです。だから大人が褒めてあげることが大切になってきます。大人は、心に愛情の貯金をたくさんもっていることで、子どもに温かい言葉をかけられるようになるそうです。愛情貯金貯めていきましょうね。

最後にグループに分かれて「生まれてきてくれてありがとう」の言葉を3回掛け合いました。大人の私たちでも、とても幸せな気持ちになりました。きっと参加者の方は家に帰って子どもさんにやってあげたことと思いますが、参加されていなかった方もぜひ、今日、子どもたちにしてあげてくださいね。きっと温かい気持ちになって明日からまた張り切って頑張ると思います。



生まれてきてくれて  
ありがとう(\*^\*)v